

▶ 営業の概要・予想(連結IFRS)／利益還元方針

財務ハイライト(連結)

単位:億円	2025年3月期 中間期	対前年同期 増減率	2026年3月期 通期予想
売上収益	2,571	7.0%	4,900
コア営業利益	701	7.2%	1,140
営業利益	521	6.7%	850
コア当期利益	538	5.5%	910
親会社に帰属する当期利益	401	7.1%	670

主な製品の売上収益と予想

製品名	2025年3月期 中間期実績(億円)	対前年同期 増減率	2026年3月期 通期予想(億円)
国内	オブジーボ点滴静注	△6.5%	1,200
	フォシーガ錠	11.6%	800
	オレンシア皮下注	2.1%	280
	グラクティブ錠	△28.2%	120
	ベレキシブル錠	15.8%	110
	オンジェンティス錠	18.6%	90
	パーサビブ静注透析用	7.4%	90
	カイクロリス点滴静注用	△12.1%	90
海外	オブジーボ	11.5%	135
	キンロック	123.3%	360
	ロンビムザ	—	80

抗悪性腫瘍剤「オブジーボ点滴静注」は、競争環境の激化等により、前年同期比で41億円(6.5%)減少の585億円となりました。糖尿病、慢性心不全および慢性腎臓病治療剤「フォシーガ錠」は、慢性腎臓病および慢性心不全での使用が拡大したことにより、前年同期比51億円(11.6%)増加の488億円となりました。消化管間質腫瘍治療剤「キンロック」の売上は前年同期比100億円(123.3%)増加(前年は7月～9月の3か月分の売上)の181億円、腱滑膜巨細胞腫治療剤「ロンビムザ」の売上は28億円となりました。

株主還元方針

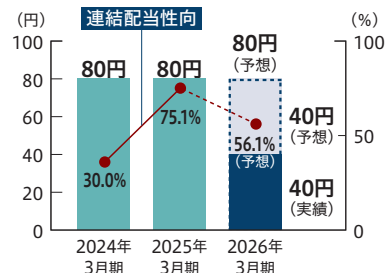
株主還元(配当)は、毎年の年間配当金を維持または増額する累進的な方針であり、各期の業績状況、各種指標を考慮したうえで、配当性向40%をめどに配当を行うことを目標としています。当期の中間配当金は1株につき40円とさせていただきます。期末配当金は1株40円、年間の配当金は1株80円を予定しています。

▶ 業績の詳細は、当社のHPをご覧ください。

<https://www.ono-pharma.com/ja/ir/library>



〈 配当金について 〉



TOPICS

当社は世界中の患者さんに革新的な医薬品をお届けするグローバル スペシャリティ ファーマを目指しており、グローバルでの自社研究開発に加え、国内外の企業とライセンス契約を締結し、医薬品の創製に取り組んでいます。

医療用医薬品の承認取得

日本国内での承認	2025年6月	オブジーボとヤーボイの併用療法による切除不能な肝細胞がんに対する効能または効果の追加に係る国内製造販売承認事項一部変更承認を取得
	2025年8月	オブジーボとヤーボイの併用療法による治癒切除不能な進行・再発の高頻度マイクロサテライト不安定性 (MSI-High) を有する結腸・直腸がんに対する効能または効果の追加に係る国内製造販売承認事項一部変更承認を取得
欧州での承認	2025年9月	欧州委員会においてデサイフェラ(当社の完全子会社)の腱滑膜巨細胞腫治療薬ロンビムザが承認を取得
韓国・台湾での承認	2025年7月	韓国においてオブジーボとヤーボイの併用療法による切除不能または遠隔転移を有する肝細胞がんのファーストライン治療に対する効能または効果の追加承認を取得
	2025年7月	台湾においてオブジーボとヤーボイの併用療法による切除不能または遠隔転移を有する肝細胞がんのファーストライン治療に対する効能または効果の追加承認を取得

ライセンス契約

2025年6月	米国Vertex Pharmaceuticals社とIgA腎症、原発性膜性腎症などで開発中の「Povetacicept」における日本、韓国での開発・商業化に関する独占ライセンス契約を締結
2025年8月	生化学工業と変形性関節症治療剤「Gel-One」における共同開発および販売提携に関する正式契約を締結